

2017年9月25日

高齢者・障がい者などに心地よい取組みを推進する企業・団体を表彰

『ユニバーサルマナーアワード 2017』に 丸井グループが選出

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩）は、一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が主催する、高齢者や障がい者など多様な人々に心地よい取組みを推進している企業・団体を表彰する『ユニバーサルマナーアワード 2017』の「インパクト部門」に選出されました。



■『ユニバーサルマナーアワード 2017』とは

高齢者や障がい者、LGBT、外国人など多様な人々の視点に立ち、心地よい取組みを推進している企業・団体を表彰するものです。優れた事例をより多くの方に知ってもらうことが、すべての人が安心して笑顔になれる社会の実現につながるという想いのもと、日本ユニバーサルマナー協会が、今年から開催しています。

42の企業・団体から寄せられた事例を「革新性」「継続性」「波及性」「実効性」の観点で審査し、すべての観点で一定の基準を満たしている19の企業・団体を選出しています。

■受賞理由について

当社グループが、すべてのお客さまに喜ばれる商業施設、商品、サービスの実現をすすめるうえで、ユニバーサルマナー検定、サービス介助研修、LGBT 対応マナー研修を活用しているほか、ユニバーサルデザインを積極的に導入し、ほかの商業施設の参考になっていることや、東京レインボープライドなどに参加、LGBTのアライ（理解者/支援者）としての姿勢を明確に打ち出すなど、幅広い対外発信をしていることが評価され、今回「インパクト部門」に選出されました。

【ユニバーサルマナーアワード 2017 概要】

○「部門賞」（19の受賞企業・団体すべてが対象）

審査の4つの観点の中でも、特に高い評価を受けた部門ごとに表彰

- ・イノベーション部門：新しい視点や、独自性の高い工夫が見られ、革新性に富む取組み
- ・サステナビリティ部門：長期間にわたり継続し、持続的な発展に向けた仕組みが特徴的な取組み
- ・インパクト部門：社会的なインパクトや積極的な対外発信の観点で波及性の高い取組み
- ・インクルージョン部門：障がい者や高齢者の声が計画段階から反映され、実効性の高い取組み

○「審査員賞」（3つの企業・団体が対象）

3人の審査員がそれぞれの知見をふまえて1つずつの事例を選出

○「ウェブ審査グランプリ」（得票率最多の1企業・団体が対象）

下記ウェブサイト上で受賞企業・団体の取組みを公開し、一般の皆さまに「共感する事例3つ」を選び、投票していただきます。

- ・投票期間：2017年9月20日(水)～10月20日(金)
- ・審査結果発表：2017年10月24日(火)『Universal Manners Award 2017』表彰式にて
- ・ウェブサイト：<http://award.universal-manners.jp/award2017>

■当社グループの主な取組み

当社グループは、お客さまの「しあわせ」をすべてのステークホルダーと共に創る共創経営をすすめています。時代と共に変化のお客さまニーズや社会の課題に対して、どう未来を切り拓いていくのか。その鍵として私たちが注目したのが、「インクルージョン（包摂）」という考え方です。

当社グループがめざすのは、年齢・性別・身体的特徴を超えた「すべてのお客さま」が、インクルードされ「しあわせ」を感じられる豊かな社会です。

【従業員の接客サービスの向上】

当社グループでは、接客サービスの向上のため、さまざまな研修をおこなっています。

《サービス介助研修》

おもてなしの心と正しい介助技術を学ぶ研修です。当社グループでは、11人の従業員が公認インストラクターの資格を持ち、研修を内製化しています。

《ユニバーサルマナー検定》

約6,000名のグループ従業員のうち、2,400名が受講。2020年までに全ての従業員が受講予定です。

そのほか、「LGBT マナー研修」、外国人講師による「インバウンド研修」も実施するなど、すべてのお客さまに安心して楽しくお買物していただける環境づくりに取り組んでおります。



車イスご利用のお客さま対応の研修では、自ら車イスに試乗し、操作方法を学ぶ

【商業施設のユニバーサルデザイン】

全国の「マルイ」「モディ」店舗で、カウンター・試着室・店内案内サインの改善や、筆談ボード・コミュニケーションボードの設置など、ユニバーサルデザイン化をすすめています。昨年開業した「博多マルイ」の店づくりでは、障がいをお持ちのお客さまにも参加していただき、オストメイト対応トイレの全フロア設置（1階を除く）や電動車イス充電用コンセントの設置、休憩ソファのひじ掛けや案内サインの見直しなどをおこないました。



「博多マルイ」の店づくりには、車イスをご利用のお客さまもご参加

【幅広い普及啓発活動】

《LGBT へ向けての取組み》

東京レインボープライド、九州レインボープライドへ参加、会場へのブース出展や「マルイ」「モディ」店舗でのレインボー掲出などをおこなっています。そのほか、2017年2月には、「有楽町マルイ」でLGBT向け就活スーツイベントも開催しました。

《ブラインドサッカー日本代表のサポート》

2017年3月より、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会とパートナー契約を締結。男女日本代表のオフィシャルパートナーとして、公式スーツの提供や女子日本代表の壮行会を開催するなど、幅広くサポートしています。



東京レインボープライドに参加
渋谷モディ前のパレードの様子

丸井グループの取組みについては、「**共創経営レポート2017**」「**共創経営レポート2016**」「**共創サステナビリティレポート2016**」にて、ご紹介しております。



共創経営レポート2017



共創経営レポート2016



共創サステナビリティ
レポート2016

※9月22日（金）に「**共創経営レポート 2017**」を発行いたしました。当社グループホームページよりご覧ください。→<http://www.0101maruigroup.co.jp/>

■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社 丸井グループ
本社所在地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2
代表電話 : 03(3384)0101 FAX 03(5343)6615
U R L : <http://www.0101maruigroup.co.jp>
社 長 : 青井 浩
主な関連会社 : (株)丸井、(株)エポスカード、(株)エイムクリエイツ ほか